

観光社会資本の事例

テーマ	秘境の大自然を眺望できる 奥瀬道路
【施設の状況写真】	
	
<p>手前は葛川大橋。奥は田戸橋。葛川大橋が供用されるまでは大型車(観光バス等)は田戸橋を通行することができず、迂回をすることでしか、北山村へ到着できなかった。</p>	<p>上記は北山村小松。左に展望台があり、緑豊かな熊野の絶景を楽しむことができる。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>北山村でしか栽培されていない柑橘類の「じゃばら」。花粉症に効果があるとされ、奥瀬道路の一部開通により、関西や関東への出荷がさらに好調になった。</p>	<p>奥瀬道路 期区間開通(平成8年度)に合わせて、平成8年11月に完成した「おくとろ温泉きたやまコテージ」。北山村への観光客は年々増加し、年間約9万人が訪れる。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>奥瀬道路 期区間開通(平成8年度)により、北山村と周辺市町村との道路ネットワークの連携が強化されるとともに、北山村の観光入り込み客数は倍増(7万人)し、その後も順調に増加しています(平成15年度:約9万人)。また、観光客の増加に伴い、北山村内の地域開発も進み、観光関係の就業者数も増加しています。</p>	

テーマ	秘境の大自然を眺望できる 奥瀨道路
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 一般国道169号 奥瀨道路</p> <p>所在地 和歌山県東牟婁郡北山村小松～新宮市熊野川町玉置口</p> <p>事業名 奥瀨道路(権限代行一次改築事業)</p> <p>事業主体 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所</p> <p>事業期間 昭和56年～</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>かつてこの地域は、徒歩でしか通れない、いわゆる通行不能区間であったので、地域の振興や生活面などにおいて大きなネックとなっていました。</p> <p>一般国道169号 奥瀨道路は、通行不能区間の解消を目的とした、権限代行一次改築事業であります。平成8年度の 期区間3.7kmの開通により、道路ネットワークの強化が図られ、また代替路線の確保により「防災」、「交通安全面」、「緊急車両の円滑な活動」など、移動の確実性が向上しました。さらに、奥瀨道路事業の進捗に伴い、観光客の増加や周辺市町村における地域間の交流が活発になっています。</p> <p>今後のさらなる整備により、高齢化社会に向けた福祉・医療面などでの地域連携が可能となります。</p>	
<p>【位置図】</p> <p style="text-align: right;">至 十津川村</p> <p style="text-align: left;">至 新宮市</p>	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>紀南河川国道事務所HP : http://www.kkr.mlit.go.jp/kinan/</p> <p>北山村HP : http://www.vill.kitayama.wakayama.jp</p> <p>道の駅HP : http://www.kkr.mlit.go.jp/road/michi_no_eki/contents/eki/w14_okutoro</p>	